

# 2022年3月期 決算説明会



株式会社 **アイチ** コーポレーション

2022年6月3日 (金)

## 1. 企業理念

私たちは、新しい変化を創造することで  
社会の発展につくします。

## 2. 当社の使命

私たちアイチコーポレーションは、  
作業環境創造企業として、社会インフラ整備に携わるお客  
さまに対し、作業の安全効率化、快適作業、環境対応、  
災害復旧等、様々なお客さま経営課題の解決に主体的に  
取り組み、お客さまにとって無くてはならない商品・サービスを  
提供することにより、力強く社会に貢献します。

# I. 会社概要

## II. 決算

1. 21年度の業績
2. 22年度の業績見通し

## III. 経営計画

1. 中期事業計画
2. ESGへの取り組み

【創立】	1962年2月2日
【代表者】	代表取締役社長 山岸 俊哉
【本社】	埼玉県上尾市大字領家字山下1152番地の10
【支店】	6支店（宮城県、埼玉県、愛知県、大阪府、広島県、福岡県）
【サービス拠点】	国内221拠点（直営15拠点、指定協力工場206拠点）
【工場】	4工場（国内2工場、海外2工場）
【事業内容】	電力・電気・電話・通信工事用機械化車両、及び 建設・荷役・造船・鉄道用等工事用機械化車両の製造・販売
【資本金】	10,425百万円
【株式】	発行済 76百万株、株主数 7,458人（2022年3月末）
【大株主】	株式会社豊田自動織機（53.6%）
【従業員数】	連結 1,065人 単独 981人（2022年3月末）
【関係会社】	子会社3社、関連会社1社

## I. 会社概要

## II. 決算

1. 21年度の業績
2. 22年度の業績見通し

## III. 経営計画

1. 中期事業計画
2. ESGへの取り組み

# 21年度の業績

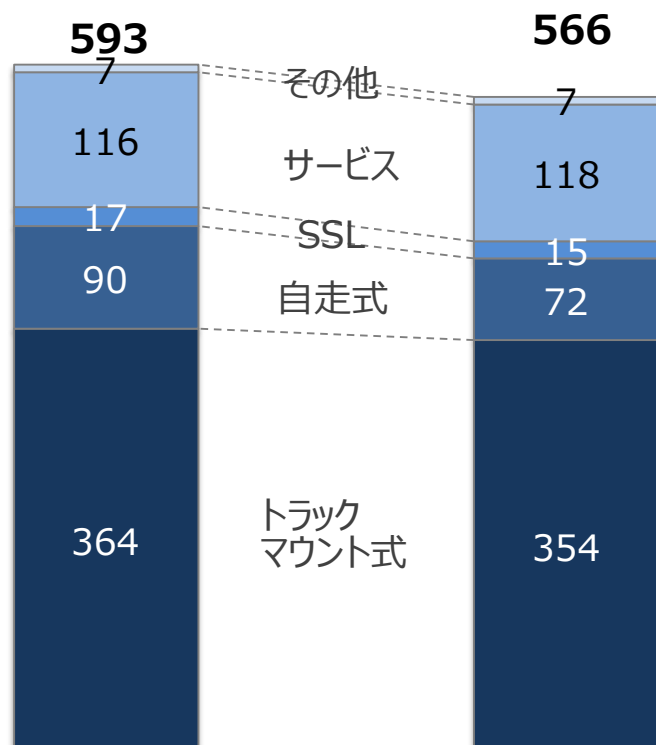


(単位:億円)

	20年度 金額		21年度 金額		増減額	増減率
売上高	593.3		565.9		△ 27.4	△4.6%
営業利益	70.5	11.9%	68.6	12.1%	△ 1.9	△2.7%
経常利益	77.0	13.0%	77.3	13.7%	0.3	0.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	59.0	9.9%	56.4	10.0%	△ 2.6	△4.4%
1株当たり配当金	中間	14円	中間	14円		
	期末	18円	期末	20円		
	年間	32円	年間	34円		
為替レート (USD)	106円		113円			
設備投資額	8億円		6億円			
減価償却費	17億円		16億円			

# セグメント別売上高

(億円)

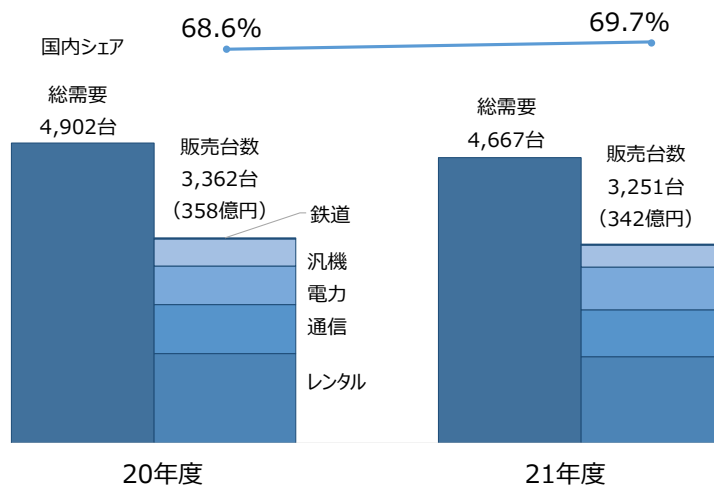


(単位:億円)

	20年度		21年度		増減額
	金額		金額		
<b>トラックマウント式</b>	<b>364</b>	<b>61.3%</b>	<b>354</b>	<b>62.5%</b>	△ 10
内)海外	6	1.0%	12	2.1%	6
<b>自走式</b>	<b>90</b>	<b>15.1%</b>	<b>72</b>	<b>12.6%</b>	△ 18
内)海外	13	2.2%	24	4.2%	11
<b>SSL</b> (スキッドステアローダー)	<b>17</b>	<b>2.8%</b>	<b>15</b>	<b>2.7%</b>	△ 1
<b>サービス</b>	<b>116</b>	<b>19.6%</b>	<b>118</b>	<b>20.8%</b>	2
内)海外	9	1.5%	10	1.8%	1
<b>その他</b>	<b>7</b>	<b>1.2%</b>	<b>7</b>	<b>1.3%</b>	0
<b>合計</b>	<b>593</b>	<b>100%</b>	<b>566</b>	<b>100%</b>	△ 27
内)海外	28	4.6%	46	8.1%	19

21年度のSSLは、収益認識に関する会計基準の適用による売上高の減少 6億円が含まれます

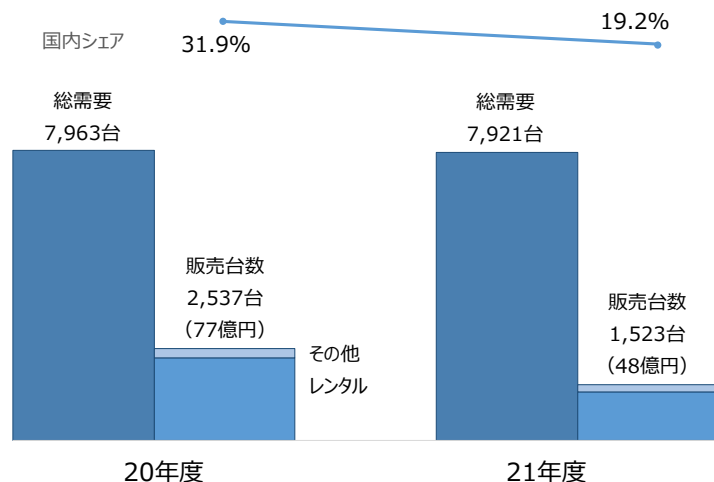
## トラックマウント式 国内シェア 業界別販売台数



■ 業界別販売台数・比率 (単位:台)

業界	20年度		21年度	
	販売台数	比率	販売台数	比率
レンタル	1,460	43%	1,418	44%
通信	799	24%	757	23%
電力	643	19%	706	22%
汎機	438	13%	356	11%
鉄道	22	1%	14	0%
国内計	3,362	100%	3,251	100%
海外	48	-	120	-

## 自走式 国内シェア 業界別販売台数



■ 業界別販売台数・比率 (単位:台)

業界	20年度		21年度	
	販売台数	比率	販売台数	比率
レンタル	2,277	90%	1,328	87%
その他	260	10%	195	13%
国内計	2,537	100%	1,523	100%
海外	479	-	799	-

## サービス

■ 売上区分別比率 (単位:億円)

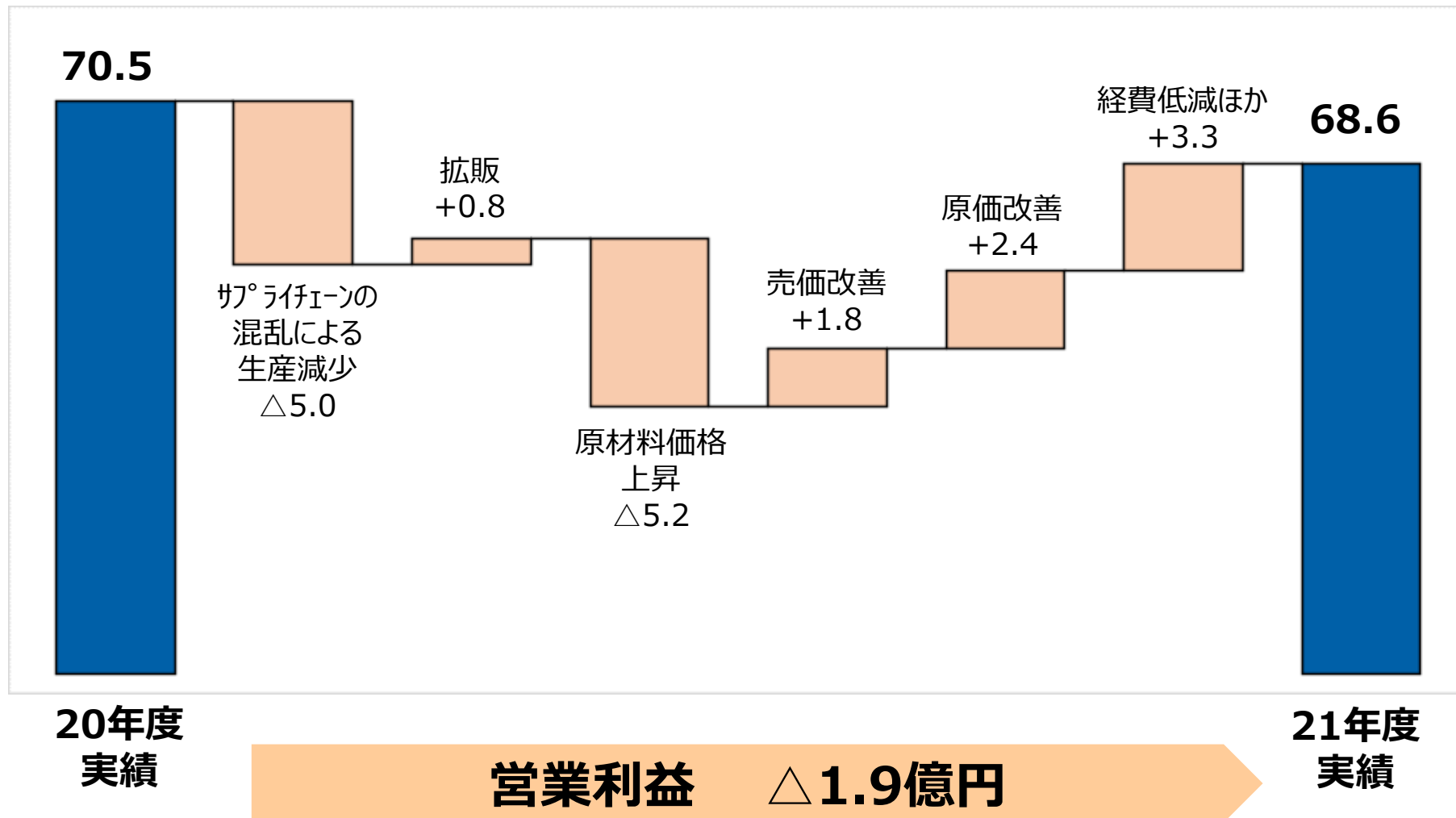
業界	20年度		21年度	
	売上高	比率	売上高	比率
検査・修理他	72	62%	76	65%
部品	44	38%	41	35%
合計	116	100%	118	100%



# 連結営業利益の増減要因

(営業利益率 11.9%)

(営業利益率 12.1%)



# 貸借対照表

(単位:億円)

		20年度末		21年度末		増減額
		残高	比率	残高	比率	
資産 の 部	現金及び預金、預け金	378	41.6%	381	42.1%	3
	売上債権	195	21.5%	186	20.6%	▲ 9
	その他	37	4.1%	44	4.9%	7
	<b>流動資産</b>	<b>610</b>	<b>67.1%</b>	<b>611</b>	<b>67.5%</b>	<b>1</b>
	<b>固定資産</b>	<b>299</b>	<b>32.9%</b>	<b>294</b>	<b>32.5%</b>	<b>▲ 5</b>
<b>合計</b>		<b>909</b>	<b>100.0%</b>	<b>905</b>	<b>100.0%</b>	<b>▲ 4</b>
負債 ・ 純 資 産 の 部	仕入債務	101	11.1%	86	9.5%	▲ 15
	その他	54	5.9%	38	4.2%	▲ 16
	<b>流動負債</b>	<b>155</b>	<b>17.1%</b>	<b>124</b>	<b>13.7%</b>	<b>▲ 31</b>
	<b>固定負債</b>	<b>21</b>	<b>2.3%</b>	<b>21</b>	<b>2.3%</b>	<b>0</b>
	<b>負債 合計</b>	<b>176</b>	<b>19.4%</b>	<b>145</b>	<b>16.0%</b>	<b>▲ 31</b>
	<b>純資産 合計</b>	<b>733</b>	<b>80.6%</b>	<b>760</b>	<b>84.0%</b>	<b>27</b>
<b>合計</b>		<b>909</b>	<b>100.0%</b>	<b>905</b>	<b>100.0%</b>	<b>▲ 4</b>

# 22年度の業績見通し



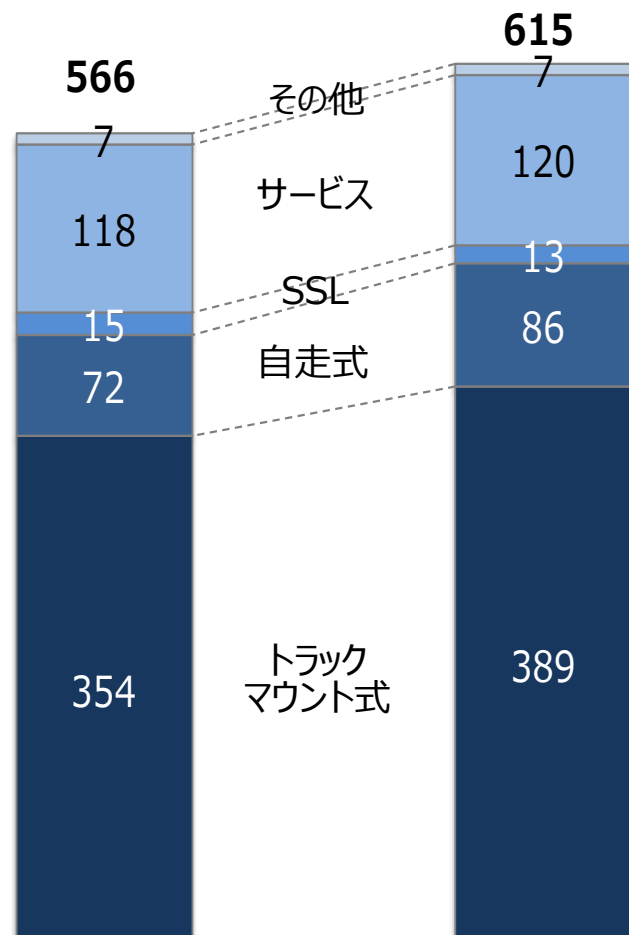
(単位:億円)

	21年度実績		22年度見通し		増減額	増減率
	金額		金額			
売上高	565.9		615.0		49.1	8.7%
営業利益	68.6	12.1%	76.0	12.4%	7.4	10.8%
経常利益	77.3	13.7%	81.0	13.2%	3.7	4.8%
親会社株主に帰属する 当期純利益	56.4	10.0%	57.0	9.3%	0.6	1.1%
1株当たり配当金	中間	14円	中間(予想)	17円		
	期末	20円	期末(予想)	17円		
	年間	34円	年間(予想)	34円		
為替レート (USD)	113円		120円			
設備投資額	6億円		24億円			
減価償却費	16億円		17億円			

22年度の連結業績見通しは、部品供給の乱れが第2四半期以降に正常化に向かうことを前提にしております

# セグメント別売上高

(億円)



21年度実績

22年度見通し

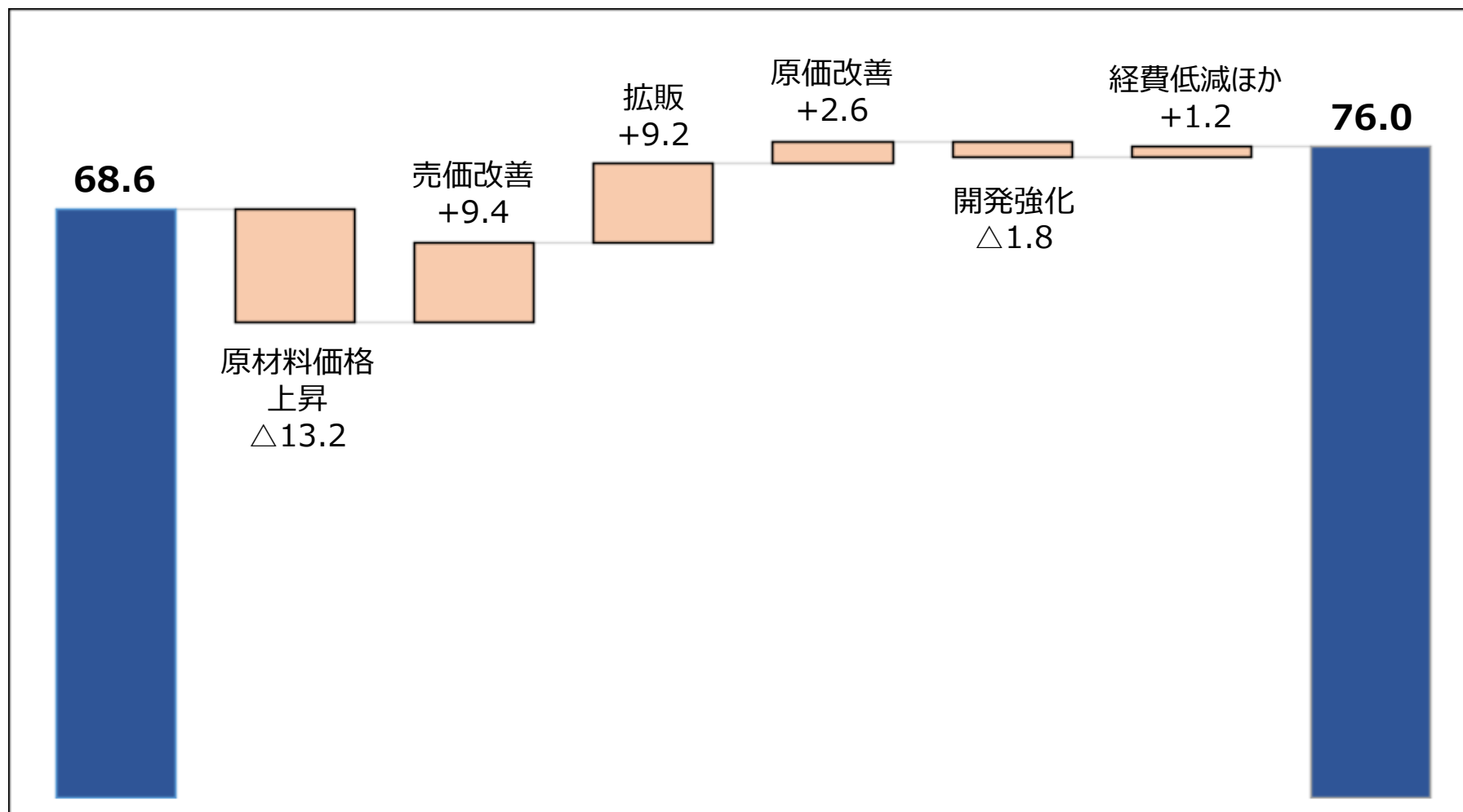
(単位:億円)

	21年度実績		22年度見通し		増減額
	金額		金額		
<b>トラックマウント式</b>	<b>354</b>	<b>62.5%</b>	<b>389</b>	<b>63.3%</b>	<b>35</b>
内)海外	12	2.1%	17	2.7%	5
<b>自走式</b>	<b>72</b>	<b>12.6%</b>	<b>86</b>	<b>14.0%</b>	<b>14</b>
内)海外	24	4.2%	25	4.1%	1
<b>SSL</b>	<b>15</b>	<b>2.7%</b>	<b>13</b>	<b>2.1%</b>	<b>△ 2</b>
<b>サービス</b>	<b>118</b>	<b>20.8%</b>	<b>120</b>	<b>19.5%</b>	<b>2</b>
内)海外	10	1.8%	11	1.8%	1
<b>その他</b>	<b>7</b>	<b>1.3%</b>	<b>7</b>	<b>1.1%</b>	<b>0</b>
<b>合計</b>	<b>566</b>	<b>100%</b>	<b>615</b>	<b>100%</b>	<b>49</b>
内)海外	46	8.1%	53	8.5%	7

# 連結営業利益の増減要因

(営業利益率 12.1%)

(営業利益率 12.4%)

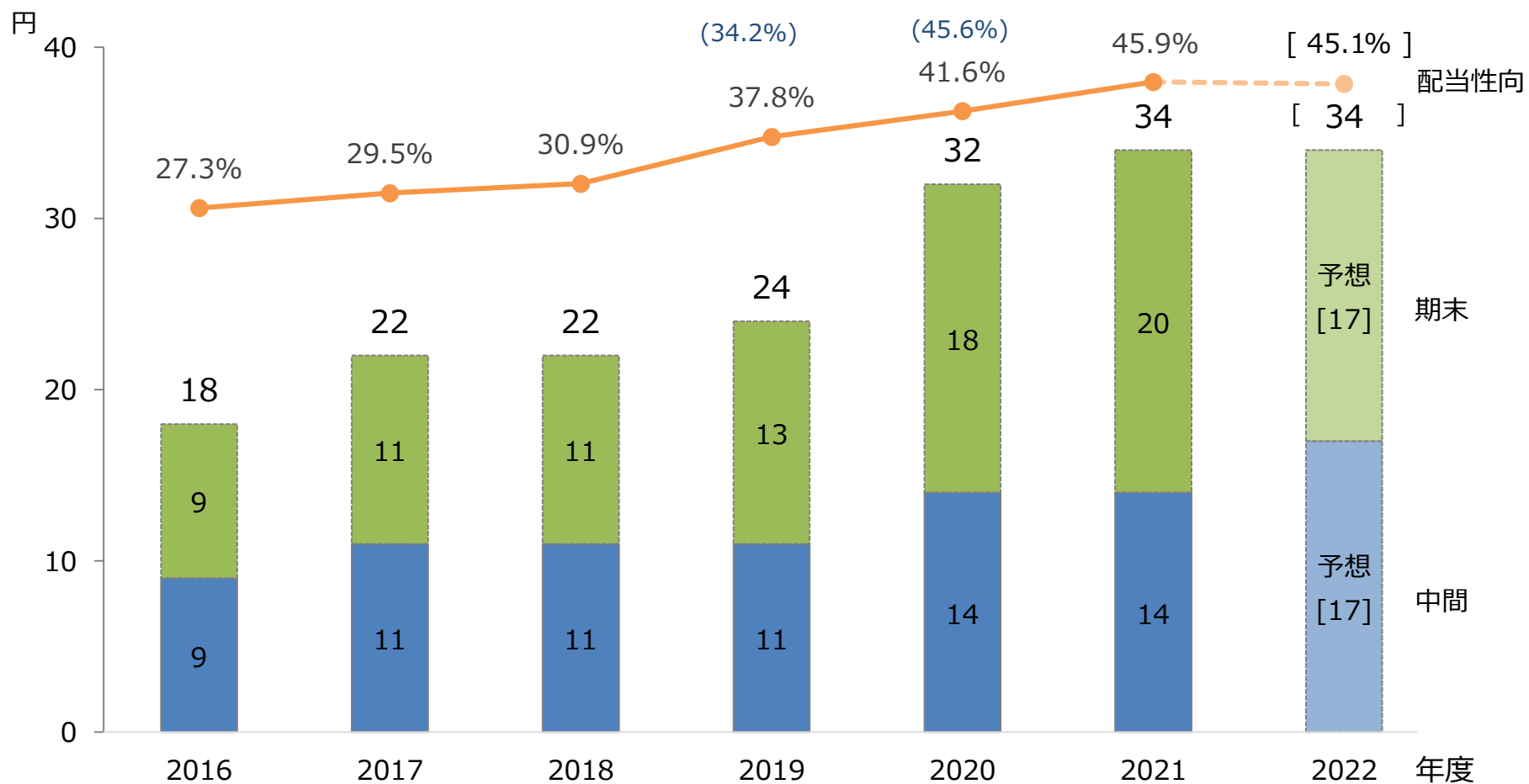


21年度  
実績

営業利益 +7.4億円

22年度  
見通し

## 1株当たり配当金と配当性向



( ) : 2019年度に発生した仕入先被災により2020年度に受領した  
 保険金収入(特別利益)を2019年度に計上した場合の想定配当性向

基本的な考え方：株主重視の観点から安定的な配当を行う

2020年3月23日公表の株主還元方針に基づき、自己株式の取得および消却を行っております

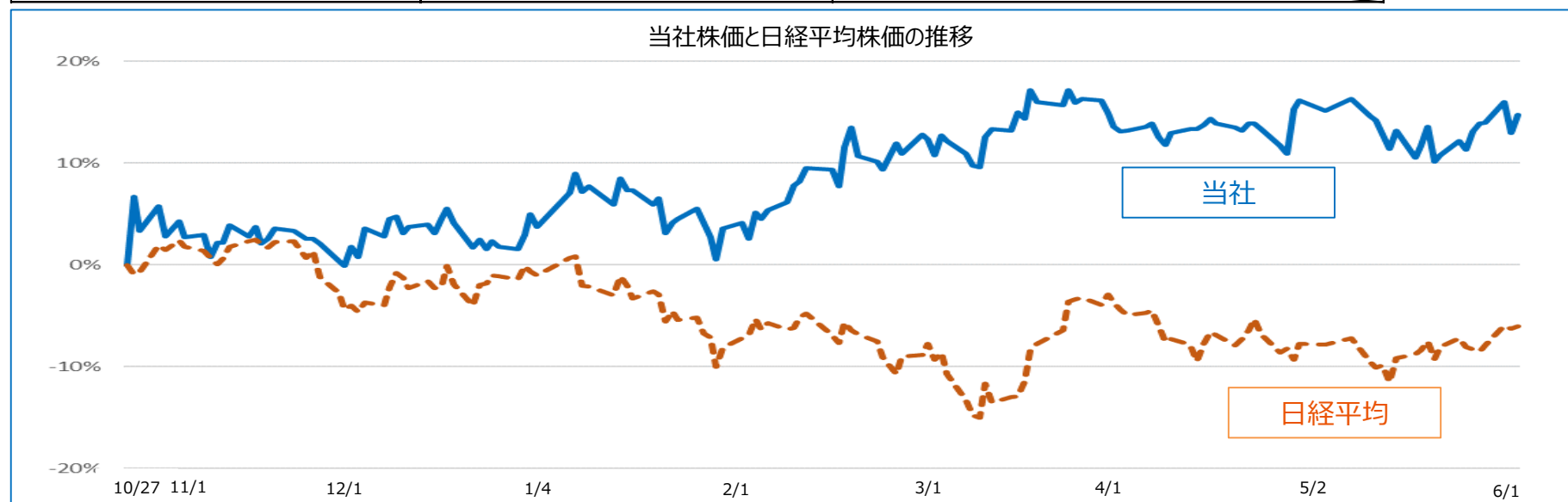
## 1. 株主還元方針(2020年度～2022年度)

安定的に配当を行うことを基本とし、配当性向50%を目安に還元

3カ年で20億円を上限とした自己株式の取得を機動的に実施 ※2020年4月～2020年12月に10億円の取得済

## 2. 自己株式の取得・消却

		2022年3月31日現在
取得しうる株式の総数	1,500千株(上限)	取得した株式の総数：809千株
取得価額の総額	10億円(上限)	取得価額の総額：6.6億円
取得期間	2021年10月28日～ 2022年 9月22日	
取得方法	市場買付	
取得後	全株消却	



# I. 会社概要

## II. 決算

1. 21年度の業績

2. 22年度の業績見通し

## III. 経営計画

1. 中期事業計画

2. ESGへの取り組み



## 1. 中期事業計画

### 1) 達成のための取り組み

社会・お客様にとって  
「なくてはならない企業」へ

- 社会貢献を中核に据えた経営
  - ・災害復旧時のお客様支援の仕組みづくり
  - ・カーボンニュートラル社会を実現する開発・生産
- ダントツの信頼を獲得する絶対的プレゼンスの確立
  - ・商品のライフサイクルを通じたお客様満足度の向上

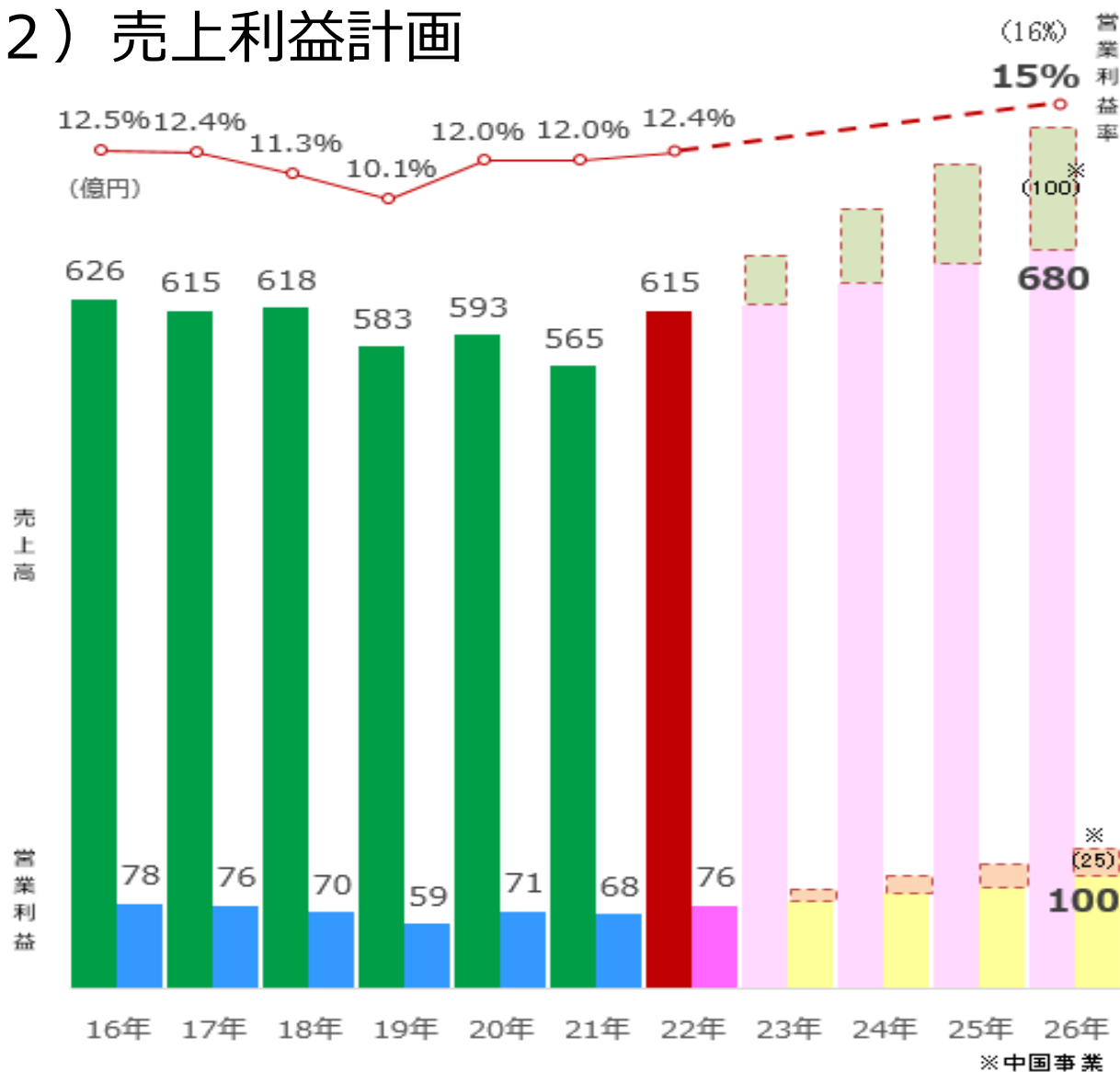
事業拡大と収益構造改革

- 成長市場・分野への積極投資
  - ・成長する中国市場での事業再編・投資
  - ・サービス事業への積極投資によるお客様満足度向上
  - ・関連事業の取り込みによる事業拡大
- サプライチェーンの再構築
  - ・仕入先と一体となった活動によるQCDの競争力強化

中期的成長を支える  
経営基盤の強化

- 腕、知恵、心を継続的に高める人材育成の仕組みづくりと効果的運用
- 更なる安全意識高揚をめざした安全文化の構築

## 1. 中期事業計画 2) 売上利益計画



### 収益拡大の主な施策

- (1) 中国 2 拠点の再編と  
能増投資による市場拡大  
へのキャッチアップ
- (2) ワンストップサービス提供  
による収益拡大
- (3) カスタマイズ機能の強化、  
機能部品の内製化
- (4) 新機能搭載、  
商品ラインナップ拡充

# I. 会社概要

## II. 決算

1. 21年度の業績
2. 22年度の業績見通し

## III. 経営計画

1. 中期事業計画
2. ESGへの取り組み

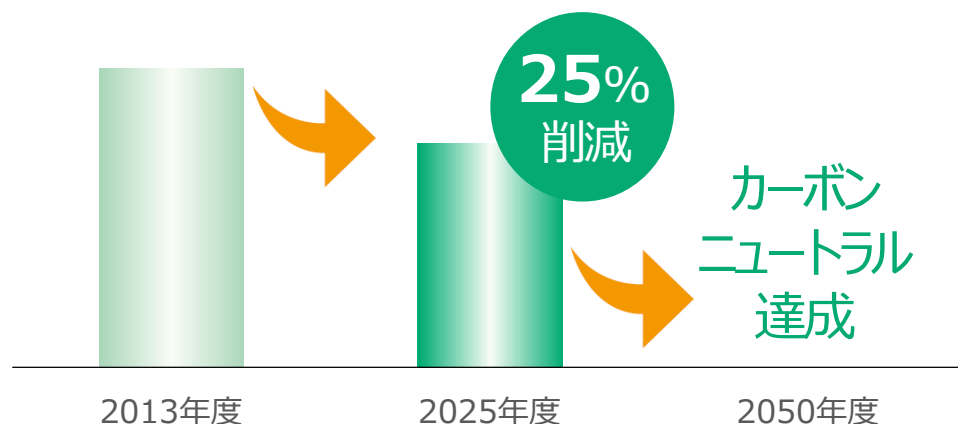
## アイチコーポレーション「ESGアクションプラン」



## 1. 環境への取り組み：2050年のカーボンニュートラル社会を見据えた取り組み

### ① 生産活動を通じたCO2削減の取り組み

【CO2総排出量削減目標】



環境方針

- ・環境マネジメントの推進
- ・脱炭素社会の構築
- ・循環型社会の構築
- ・環境リスク低減と自然共生社会の構築



新治事業所に太陽光システムを増設し、2022年4月より稼働中

【再エネ導入率】



太陽光発電・水力発電等のグリーン電力の積極的導入

2025年度

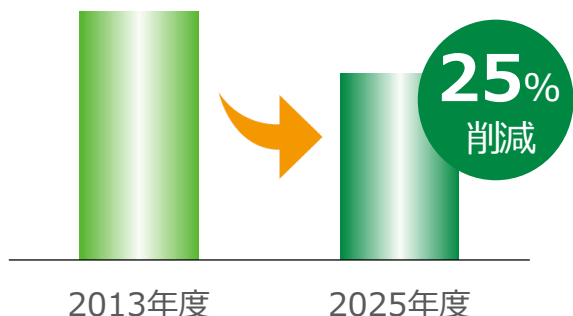


15%以上

## ② 当社商品を通じたCO2削減活動の取り組み

作業環境創造企業として、エコ商品をご提供することにより  
お客様の環境活動のお手伝い

【当該年度販売の当社商品の使用によるCO<sub>2</sub>排出量削減目標】



低炭素社会  
【Eco Aichi 商品】



循環型社会  
【3R設計】



Reuse : 使える物は繰り返し使う  
Reduce : 物を大切に使い ゴミを減らす  
Recycle : ゴみを資源として再利用する

リスク低減  
【排ガス削減】



### ① 地球環境への思いやり

- CO<sub>2</sub>排出量削減
- 燃費削減 ● 省資源
- 環境負荷物質削減

### ② 作業する方への思いやり

- 静かな作業環境
- メンテナンスフリー
- かんたん操作

### ③ 周りの方への思いやり

- 騒音を出さない
- 排気ガスを出さない



EV高所作業車



リチウムイオン  
バッテリー搭載車



電動自走式高所作業車

(現在開発中のプロト機)

## 2. 社会への取り組み①：災害復旧支援



CAS(キャス)とは、お客さまが災害復旧時作業の現場で安全かつ迅速な復旧工事を行うために当社グループが一丸となって取り組む活動です。



多目的移動電源車



倒木伐採車



### 体制

- 稼働支援
- 車両提供
- 場所提供

### 情報

情報伝達 / 情報共有  
のしくみづくり

- 車両の稼働状態管理
- 車両の位置情報提供

### もの

災害復旧に向けた  
車両 / 装備開発

- 道路障害物(倒木)除去
- 応急電源確保・移動充電車
- サポートカー・現地指揮車

### アイチネットワークのバックアップ **お客さまへ提供**

- 全国6支店・3事業所ならびにカスタマーサービスセンター・サービスステーション、指定店206社との連携
- お客さま固有車両に対応できるサービス技術者の育成・派遣

年々激甚化する自然災害に対するお客さまの復旧活動に際し、当社は安全・効率的な活動を支援

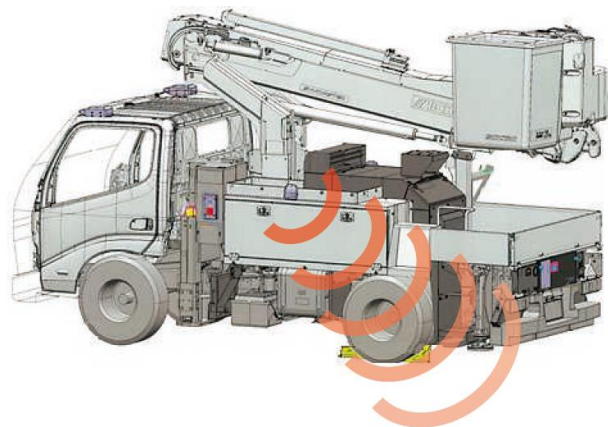
## 2. 社会への取り組み②：安全性追求

### センシング活用による安全システムの提案

次世代を見据えた車両本体および車両の周辺情報のセンシングなど、更なる安全性を追求することで、より安全で効率的な作業環境創造に取り組んでいます。

#### 【坂道での逸走防止】

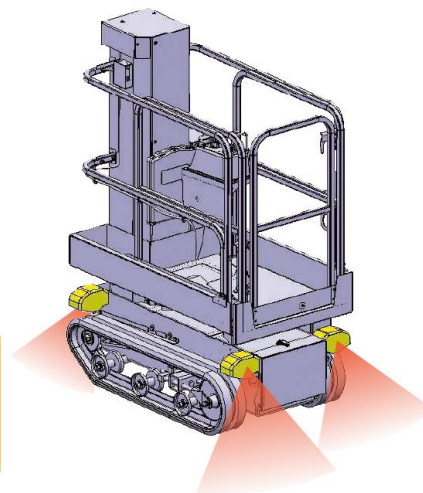
輪止めが適切に設置されていることをセンサで検知し架装物の作動を許可することで逸走事故ゼロ化へ挑戦。



【進行方向に存在する危険な段差を検知・自動停止】  
自走式高所作業車での路面段差危険予知による車両転倒事故の未然防止。

#### 【作業現場のはさまれ防止】

周辺認知技術を応用した安全支援装置でオペレーターの挟まれ事故防止。



お客様の安全を第一に考え、今後も安全性を追求した製品開発を継続



## 2. 社会への取り組み③：地域貢献・ボランティア活動

### ● 地域次世代層を対象とした教育支援活動（社会科見学など）



2021年度は、400名の小学生の皆さんが参加されました。

### ● ひとり親家庭や生活困窮者等を支援するフードバンク活動、ウクライナ支援募金活動



### ● 地域振興イベント出展、地域清掃、自動販売機収益金の寄付活動



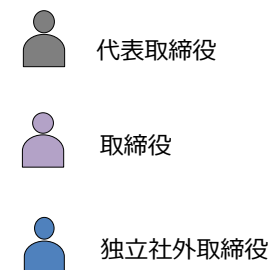
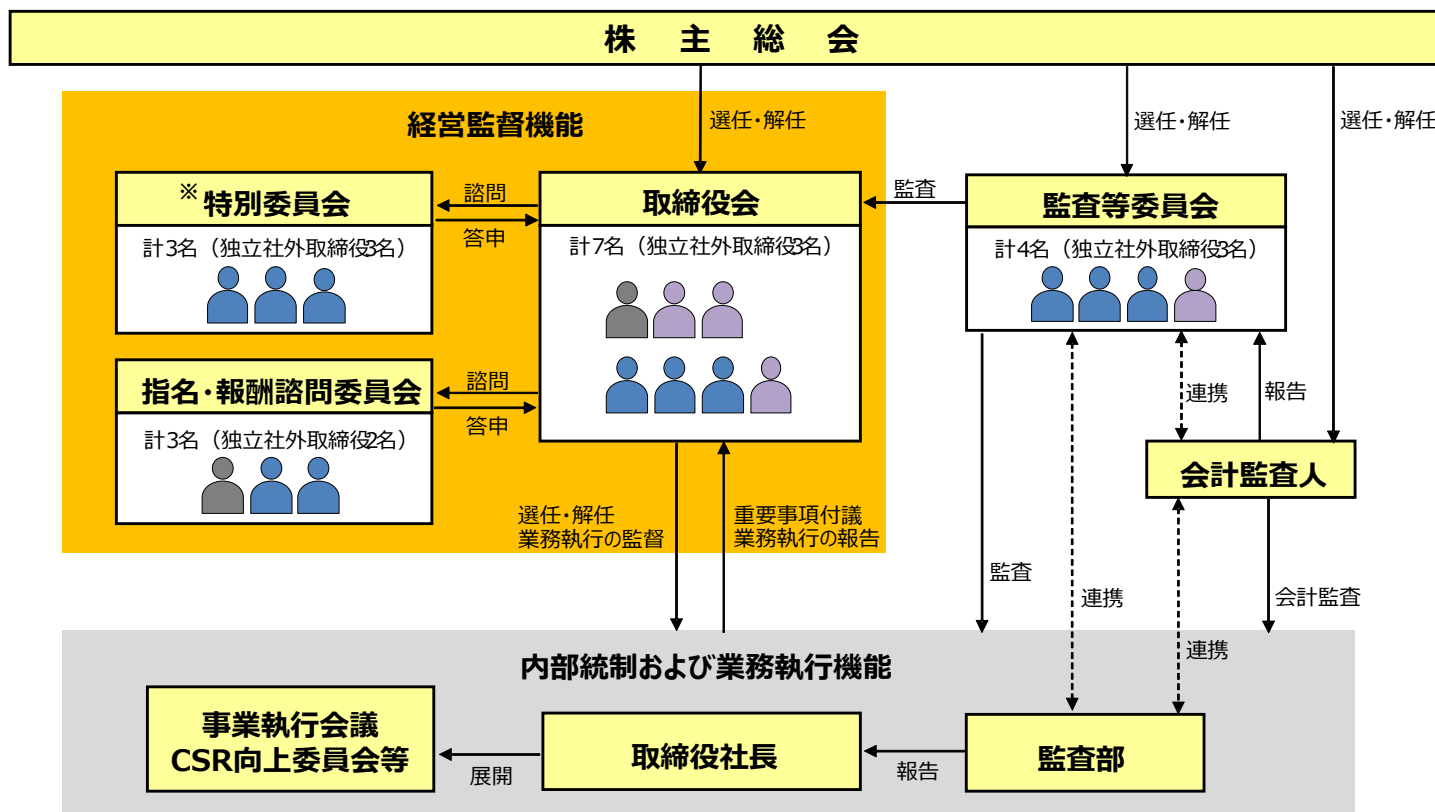
地域社会との共生のため、社会貢献活動へ積極的に参画

## 3. ガバナンス向上への取り組み

取締役会の監督機能を強化し経営の透明性を一層向上させるとともに、少数株主の利益を確保するため監査等委員会、特別委員会、指名・報酬諮問委員会において独立社外取締役を配置しております。

### コーポレート・ガバナンス体制

(2022年3月31日現在)



※当社と支配株主またはその子会社などとの間で、支配株主と少数株主との利益が相反する重要な取引が発生する場合に審議・検討を行う特別委員会を設置

この配布資料に記述されている、弊社の予想、見通しは、現在入手可能な情報から得られた弊社の経営者の判断に基づいています。

従って、この業績予想に全面的に依拠することはお控え頂きたく、お願い申し上げます。

また、これらの数字に関しては、様々なリスクや不確実性により、大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。

ここでのリスクや不確実性とは、弊社を取り巻く経済情勢、お客様環境、競合環境、関連法律・法規、為替レートの変動などが含まれます。

ただし、業績に与え得る要因はこれに限定されるものではありません。